

# 管理所レビュー VOL.11

(R 4.10.13 水源林管理所)

令和4年度、第11回のボランティア活動が、9月28日(水)に実施されました。

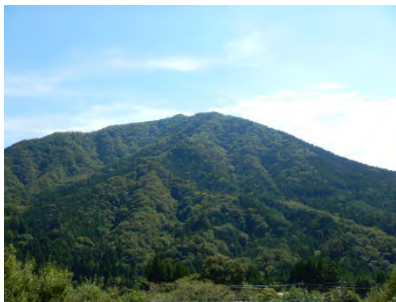
当日は、貴重な秋晴れの爽やかな間伐日和となり、無事に活動を実施することができました。皆様、大変お疲れ様でした。

この時期、本来ならば安定した天気が続く秋本番ですが、9月30日には、富士山の初冠雪が発表され、10月7日には道志村でも1日を通して9度までしか気温が上がらない冬の寒さとなり、厳しい冬がすぐそこまで迫っていることを実感しています。

次回の15日(土)の活動日も天候に恵まれるようですが、吹く風は日に日に冷たさを増していますので、汗をかいた後の着替えなど、服装の準備は万全にご参加ください。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

## 1 活動当日の様子



秋晴れにそびえる鳥の胸山。



準備体操をしっかりと。



今日も安全作業で！



自己紹介でコミュニケーション。



ノコギリは真っ直ぐに引きましょう！



枝払いもケガに注意！



ノコギリの下切りを指導。



追い口を切りの高さを指導。



重い丸太の移動はケガに注意！



受け口が小さいですね！



傾斜地での作業は十分に注意を！



切り残し(ツル)が効いています！

## 2 再確認！枝払いも注意しましょう！

枝払いもボランティアの会の皆さんにとっては、すでに慣れた作業となっていますが、安全のため、次のことに注意してください。

### 〔テンションのかかった枝の切断〕

テンションがかかっている枝の切断は、切断の途中で裂けて自分の方に跳ね返る場合があります、危険です。

### 〔太い枝の切断〕

太い枝の切断は、いきなり枝の根元を切ると、重さや枝の向きによっては片手でコントロールできず、ノコギリを挟まれて破損したり、同じ作業をしている近くの人に当たったりする場合があります、危険です。

※ 枝払いを行う前には、枝の太さや曲がり具合などを観察し、状況によっては枝の途中を一旦切るなどして、安全に作業してください。



テンションのかかった枝の切断に注意！ 近くの作業者にも注意！

安全な枝払いのお手本。

(「伐木造材作業者必携」より一部抜粋)

## 3 伐倒直後の根元の動きに注意しましょう！

立木の形状や倒れる場所の地形、伐倒方向周辺の立木への接触具合、切り残し（ツル）が薄い場合など、状況によっては、倒れた時に切り残し（ツル）が引きちぎられ、根元部分が瞬間的に横方向に大きく移動したり、跳ね上がった場合があります、大変危険です。

このような危険を回避するために、インストラクターは、次の点に注意をお願いします。

●切り残し（ツル）を適正な厚さに残すこと。（ツルは切りすぎると危険です。）

●追い口切り終了後、切り手を安全な場所に退避させ、退避の確認後、ロープの引き手にロープを引く合図（笛）を行うこと。



横方向への移動に注意！



跳ね上がりに注意！

※ 次回、10月15日（土）は、曇り時々晴れ、最高気温20度の予報となっています。

★それでは次回10月15日、気をつけてお越しください。